

ほんめの“眼” ~HOMME's EYE~

ジンジャーとさよ

谷中に住む猫

台東区の区議会議員



生理用品、やっぱりトイレに必要なのじゃ？



たしかにそうじゃ。



それが、何かしらの理由で用意できない子どものために必要なのか？は私もわからないの。だから調査やってほしかったんだけどね。



ただね、公平性の問題はあるんだけど、思春期というデリケートな時期に「生理」に関することで困ったなとか、嫌だなって思う経験は少しでも減らしてあげたいんだよね。



港区でも用意できない子いたじゃ。



さよ議員も経験あるじゃ？



そうなのよ。だから台東区でもいると思うんだよね。でも、生理用品を無料で行政が配るべきか？というのは難しくもある。



今はだいぶ鈍感力もあがったけど、恥ずかしくて保健室に行けないとか、休み時間短いからやっぱり保健室に行けないとか普通にありそうな気がするんだもの。自分が嫌だと思ったことは、後輩たちには味わわせたくないよね。



生理的現象だというのじゃだめじゃ？



うん。そうすると、赤ちゃんのおむつも、大人の尿もれパッドも無償配布？という公平性の問題もあるの。

台東区議会議員

ほんめ

本目さよ

1982年3月10日生 39歳

党籍：無所属

会派：つなぐプロジェクト

資格：保育士

趣味：読書、おかしづくり

好きな物：くだもの

成蹊高校、白百合女子大学を経て、お茶の水女子大学大学院修了。研究テーマは『夫婦の情緒的サポートと育児ストレスの関係』。修了後はIT系人事職として、社員が働きやすい会社づくりにつとめる。2011年より台東区議会議員。2019年3月に3選を果たす。台東区では唯一の30代で子育て中の女性議員。声なき声を聞くという意志と、少子高齢化への特效薬としての子育て支援に力を入れていることからタッチフレーズは「子育て、本命！ーやさしい政策ー」「議員のあり方」とは何か？を模索しながら区民の方々との双方向的な取り組みを実施している。政策を実現できる女性議員を増やすための超党派若手女性議員のネットワーク「WOMAN SHIFT」代表。子育て・若者支援特別委員会所属。一児の母。ママのインターン受け入れ中。



2021年12月議会で区長と教育長に、提案&質問しました！



生理のはなし。

港区で子どもたちにアンケートを実施したところ、生理用品に困ったことがある子どもが17%、そのうち5%が何らかの理由で生理用品を用意できない環境にあると回答しました。困窮家庭や単身父親家庭がひとつの要因と考えられます。そのため、台東区でも実態の把握をするべきでは？ また、男子生徒や男性の先生も含め生理についての教育を充実するべきでは？ と提案しました。

教育長の回答

無記名での一斉調査という手法でなく、日頃の子どもたちとの関わり合いの中で、信頼関係を築きながら、それぞれの家庭環境などを把握し、対応していくことが、より適切であると認識しているので、無記名のアンケートはしない。

HOMME'S EYE



とっても残念な回答でしたが、まずは課題の提起ということで。学校の休み時間が短いことからその時間に保健室に行くの難しいよねという話や、そもそも思春期の女子が自分が生理になったことを保健室の先生にも言いつらいかな？と思ったりもします。昔、私も女子だったので…。

←この記事を詳しく読む！



幼稚園・保育園・子ども園での子どもの事故防止。

子どもの施設で、全国的に豆やブドウで窒息死する事故が起きています。今まで大丈夫だと思われていた4歳児などでも起きており、台東区としても対策が必要だと伝えました。節分の豆やブドウをそのまま食べると、いくら気をつけていても「窒息するかもしれない」と注意する必要があります。特に区内の幼稚園や保育園などのガイドラインの徹底を求めました。ご家庭でも気をつけてください！

教育長の回答

就学前教育・保育施設において、子どもの安全の確保は極めて重要と認識している。これまでも各施設に対しては、食品を原因とした誤嚥事故の防止やおおむけ寝の徹底など、安全確保の確認を呼び掛けている。

HOMME'S EYE



豆まきをしている園が実際にあるようなのです。拾って食べないとも限りません。先生1人で20人の子どもが口に入れないか？ は確認できないかなと思っています。

←この記事を詳しく読む！

子育て、本命！



発行：
台東区議会議員 本目さよ
台東区谷中 3-24-8-203

